

日本医用画像工学会 2012年度総会 議事録

会 期：2012年8月4日（土） 13：10～14：10

会 場：札幌厚生病院 新館 3F 大会議室（第1会場）

出席者：出席 58名 委任状 32名

議 事：1. 赤塚会長より開会のご挨拶があった。

2. 出席 58名、委任状 32名の合計 90名で総会が成立することが確認された。

3. 恒例により異議なく赤塚会長に議長が一任される事が確認された。

4. 審議事項（添付の議事録資料参照）

(1) 赤塚会長より学会の運営状況について報告がされ、承認された。

(2) 2011年度事業報告および2012年度事業計画

1) 大会関係について赤塚会長より報告され、承認された。

2) 学術・渉外について羽石担当常任幹事より報告され、承認された。

3) 編集委員会について工藤委員長より報告され、承認された。

4) 広報委員会について安藤委員長より報告され、承認された。

5) CAD委員会について長谷川委員長より報告され、承認された。

6) 事業関係について尾川担当常任幹事、本間担当常任幹事および縄野担当常任幹事より報告され、承認された。

(3) 2011年度決算報告

1) 2011年度決算報告について細羽担当常任幹事より報告され、承認された。

2) 2011年度決算報告会計監査報告について掛川監事より報告され、承認された。

(4) 2012年度予算案について細羽担当常任幹事より報告され、承認された。

(5) 役員人事の改訂について赤塚会長より報告され、承認された。

(6) 規約等の改訂について赤塚会長より報告され、承認された。

5. 縄野新会長のご挨拶があった。

6. 2011年度 MIT 誌「論文賞」・第30回大会「大会奨励賞」の受賞者が紹介され、授賞式が行われた。

7. 第32回大会の本間大会長（産総研）よりご挨拶があった。

8. 赤塚会長より退任および閉会のご挨拶があった。

以上

2012年度総会式次第

会 期: 2012年8月4日(土)
会 場: JA札幌北海道厚生連 札幌厚生病院

1. 開会の辞(会長)
2. 審議事項
 - (1) 学会の運営状況について
 - (2) 2011年度事業報告および2012年度事業計画
 - ・大会関係
 - ・学術・渉外
 - ・編集委員会
 - ・広報委員会
 - ・CAD委員会
 - ・事業関係(ハンドブック編集委員会/研究会の設置/教育委員会)
 - (3) 2011年度決算報告および会計監査報告
 - (4) 2012年度予算案
 - (5) 役員人事について
 - (6) 規約等の変更・改訂
3. 新会長の挨拶
4. 2011年度MIT誌「論文賞」・第30回大会「大会奨励賞」授賞式
5. 第32回大会長の挨拶
6. 閉会の辞(会長)

学会の運営概況について

- ◆ 現在の学会運営状況
 - ・会員 一般会員:微増, 学生:微増
 - ・経済状況+出版形式変更 → 広告費0, 賛助会員減少
 - ・電子コミュニケーション: NL, 会誌電子化, Mail広報
- ◆ 会誌のWeb出版定着
 - ・現状: J-Stage利用 ・2年経過で完全一般公開・冊子印刷サービス(ほぼ実費)
 - ・今後への期待: 動画等電子付録活用, 欧文出版
 - ・編集出版部の確立
- ◆ JAMITならではの交流の場に
 - ・研究会活動の活性化と研究情報の共有 教育委員会活動
 - ・会員の積極的な運営参加, 関連領域との交流増進 等々

事業報告および事業計画: 大会関係

- ・ 2011年度報告

第30回大会を、勝俣健一郎大会長(国際医療福祉大学)のもとに、国際医療福祉大学大田原キャンパスにて開催した。(2011年8月5日・6日/参加者数223名・演題数96演題)
- ・ 2012年度計画

第31回大会を、森雅樹大会長(札幌厚生病院)のもとに、札幌厚生病院にて開催する。(2012年8月4日・5日)

事業報告および事業計画: 学術・渉外 連合フォーラム活動等 1/2

2011年度活動報告

1. JAMIT Frontier2012(JAMIT, 電子情報通信学会MI研, MII, 日本写真学会共同開催の**メディカルイメージング連合フォーラム**)を那覇市で開催した。

期日: 2012年1月19(木)・20日(金)
場所: 那覇市ぶんかテンプス館
特別講演: 3件
一般講演: 78件



ポスターセッション
2. 施設見学・情報交換会を開催した。

期日: 2011年7月20日(水)
場所: 千葉大学フロンティア
メディカル工学
研究開発センター
参加者数: 40名





JAMITフロンティア 特別講演

東工大 山口雅浩先生 岐阜大 藤田広志先生 徳島大 河田佳樹先生
メディカルイメージング連合フォーラムでの特別講演

事業報告および事業計画:学術・渉外 連合フォーラム活動等 2/2

2012年度活動計画

- International Forum on Medical Imaging in Asia(IFMIA) 2012をJAMIT, 医用画像情報学会MIJ, 日本写真学会および台湾, 韓国の学会との共同開催の国際会議として, 韓国で開催する。
期日: 2012年11月16日(金), 17(土)
場所: Korea Advanced Institute of Science and Technology (KAIST) Daejeon, Korean
URL: <http://ifmia.kaist.ac.kr/>
General chairs: Jong Beom Ra, KAIST, Korea
Koichi Ogawa, Hosei Univ., Japan
Yung-Nien Sun, National Cheng-Kung Univ., Taiwan



- JAMIT Frontier2013(JAMIT, 電子情報通信学会MI研, MIJ, 日本写真学会共同開催のメディカルイメージング連合フォーラム)を那覇市で開催する。
期日: 2013年1月24(木), 25日(金)
場所: 那覇市ぶんかテンパス館

編集委員会2011年度活動報告

1/3



- 雑誌の発行**
Vol.29, No.4 『JAMIT2011査読付き論文+一般』
Vol.29, No.5 『IFMIA2011, JAMIT2011査読付き論文+一般』
Vol.30, No.1 『皮膚科学における画像処理技術特集+一般』
Vol.30, No.2 『システム開発論文(1回目)+一般』
Vol.30, No.3 『システム開発論文(2回目)+一般』
- 原著論文投稿・掲載状況** (Vol.29, No.4~Vol.30, No.3)
投稿数 (2010年38件 -> 2011年45件)
掲載数 (2010年21件 -> 2011年13件)
- 編集部への移行**
美津濃印刷の廃業に伴い, 2011年10月に編集部を『クワンタム』に移行し, 2012年7月には『学術新報社』に移行した
- その他**
『講座: 可視化と画像解析』企画, 『学会参加報告』定常化, J-STAGEバージョンアップに伴う移行作業, 論文賞選考

2011年度論文賞

2/3

『T₂緩和時間の角度依存性を用いたコラーゲン線維のMRイメージング』

井村 誠孝¹⁾, 徳井 隆博¹⁾, 大口 諒²⁾, 田畑 慶人³⁾, 石垣 陸太³⁾, 黒田 嘉宏¹⁾, 藤原 一央⁴⁾, 大城 理¹⁾

1) 大阪大学大学院基礎工学研究科 2) 登美ヶ丘画像診断クリニック
3) 京都医療科学大学 4) メディカルチャート

概要: 人体最大の腱であるアキレス腱の断裂は, 外傷において頻度の高いものであり, 発生により日常生活が著しく困難になるため, 断裂の予兆の検出が期待されている。本研究では, 腱や靭帯の軽微な損傷を, 複数のMR(Magnetic resonance)画像を用いることにより非侵襲的に定量化し画像化する手法を開発する。MR画像において, 腱や靭帯を構成するコラーゲン線維配向が静磁場に対してなす角が55度付近になると高信号を発生するMagic Angle Effect現象(MAE)に着目する。臨床現場ではMAEは診断の障害となるアーチファクトとして扱われているが, 本研究では撮像環境をコントロールして, MAEを意図的に発生させ, その角度依存性を計測する。複数のMR画像に対する画像処理と理論モデルのあてはめによりMAEの発生度合いを定量化することで, コラーゲン線維の配向の乱れを画像として可視化する。

編集委員会2012年度活動予定

3/3

- 雑誌の発行**
Vol.30, No.4 『JAMIT2012査読付き論文+一般』
Vol.30, No.5 『放射線技師特集+一般』
Vol.31, No.1 『画像再構成の基礎と現状特集+一般』
Vol.31, No.2 『システム開発論文+一般』
Vol.31, No.3 『医用画像でのGPUの応用+一般』
- 英文誌発行の検討** (やるかやらないかも含めて)
- 査読改革**

論文投稿のお誘い

原著論文投稿数が少ない

第2回『医用画像システム開発論文』特集号論文募集
投稿締切: 2012年10月30日(火)
掲載号: Vol.31, No.2 (2013年3月)

活動報告および活動計画: 広報委員会 1/5

2011年度事業報告

- メールマガジンの発行
(2011.7~2012.6 55通)
- ホームページの整備 (<http://www.jamit.jp>)
- eNews Letter
No.9 2011年07月 通算No.63
No.10 2011年12月 通算No.64
No.11 2012年04月 通算No.65



活動報告および活動計画: 広報委員会 2/5

- eNews Letter No.9 2011年07月 通算No.63

- 技術交流の輪① 標準脳
解剖学的標準化を用いた日本人正常脳構造モデルの構築
福田 寛 (東北大学加齢医学研究所)
- JAMIT のひろば
災害時緊急医療支援と企業の社会的責任
小笠原 広行 (東芝メディカルシステムズ株式会社)
- JAMIT のひろば
インルーム検査用 多目的FD 透視診断システム
LUMINOS Session ルミノス セッション
林 昭人 (シーメンス・ジャパン株式会社)
- お知らせ
CAD コンテストの案内
医用画像データベース

活動報告および活動計画: 広報委員会 3/5

- eNews Letter No.10 2011年12月 通算No.64

- 特集
第30回日本医用画像工学会大会後記 勝俣 健一郎 (国際医療福祉大学)
第3回JAMIT CAD コンテスト結果報告 北坂 孝幸 (愛知工業大学情報科学部)
新常任幹事就任のご挨拶 周藤 安造 (麻布大学生命・環境科学部)
編集委員長への就任にあたって 工藤 博幸 (筑波大学システム情報系情報工学域)
新名誉会員就任のご挨拶 鳥腦 純一郎 (名古屋大学名誉教授)
- 技術交流の輪① 非剛体レジストレーション
マルチアトラス法: "レジストレーションによるセグメンテーション"の最近の進展
佐藤 嘉伸 (大阪大学大学院医学系研究科)
- 技術交流の輪② 標準脳
脳イメージングにおける機能画像と形態画像の融合の在り方
工藤 博幸 (筑波大学システム情報系情報工学域)
- JAMIT のひろば
納得の検出力で読影医をサポートするマンモグラフィ診断支援システム
加野 亜紀子 (コニカミノルタエムジー株式会社)

活動報告および活動計画: 広報委員会 4/5

・ eNews Letter No.11 2012年04月 通算No.65

特集

第31回日本医用画像工学会大会のご案内

森 雅樹 (JA 北海道厚生連札幌厚生病院呼吸器内科)

JAMIT Frontier2012(メディカルイメージング連合フォーラム)報告

小尾 高史 (東京工業大学大学院総合理工学研究科)

「CT Image Wisely」

dual-energy をもちいたCT urography の有用性

高橋 哲 (神戸大学医学部附属病院放射線科)

最新技術のためのCT 性能評価法

市川 勝弘 (金沢大学医薬保健研究域)

—最新CT の先端技術利用法—

池田 秀 (東海大学医学部付属病院放射線技術科)

Dual-energy CT 画像とは?—物質弁別画像・仮想単色X線CT画像—

山崎 彰久 (慶應義塾大学病院中央放射線技術室)

JAMIT のひろば

新型画像情報システム「ImageConcier」 井桁 嘉一 (株式会社日立メディコ)

お知らせ

医用画像データベース 清水 昭伸 (東京農工大 大学院共生科学技術)

活動報告および活動計画: 広報委員会 5/5

◆ 2012年度事業計画

- ・ メールマガジンの発行
- ・ ホームページの整備
- ・ eNews Letterの発行
 - ◆ No.12 2012年07月 通算No.66
 - ◆ No.13 2012年12月 通算No.67
 - ◆ No.14 2013年04月 通算No.68

活動報告および活動計画: CAD委員会 1/4

◆ 2011年度活動報告

- ・ CADM史の発行(2012年2月)
- ・ 第3回CADコンテストの開催
 - 日程: 2011年8月4日(木), 5日(金)
 - 場所: 国際医療福祉大学(大田原市) ※第30回大会々場
 - 課題: 3次元腹部CT像からの肝血管腫の抽出
 - 結果: 1位: 中京大, 2位: 愛工大, 3位: 名大
- ・ CAD勉強会の開催(計3回)
 - 第9回 2011年5月21日(土)@名大(話題: 準備状況の報告)
 - 第10回 2011年10月8日(土)@名大(話題: 実行結果の分析)
 - 第11回 2012年3月4日(日)@九大(話題: 症例配布と解説)
- ・ 画像データベースの販売

活動報告および活動計画: CAD委員会 2/4

CADM史編集・発行の概要

1. 編集概要

- ・ 編集方針: 16年間の活動実績と関係者の回想録で構成
- ・ 収録項目: CADM小史/会員寄稿(3件)/年表/役員名簿/事務局データ/年次大会/インターネット論文誌/ニューズレター/画像データベース/CADコンテスト/ホームページ/他
- ・ 執筆者: 鳥脇純一郎, 小畑秀文, 飯沼武, 名取博, 縄野繁, 長谷川純一, 清水昭伸, 目加田慶人, 平野靖
- ・ 冊子形態: A4判62ページ
- ・ 編集委員会: 委員長: 長谷川純一, 委員: 鳥脇純一郎, 縄野繁, 清水昭伸, 目加田慶人, 森健策, 平野靖, 北坂孝幸, 協力者: 藤田広志, 仁木登, 事務局: (有)クワンタム

2. 発行概要

- ・ 発行者名: 日本医用画像工学会
- ・ 発行年月: 2012年2月
- ・ 発行部数: 200部
- ・ 印刷: MIT誌編集部
- ・ 配布先: CADMの賛助会員(5社), 正会員(167名), 学生会員(7名), 名誉会員(4名), 歴代会長, および, JAMITの会長・副会長・常任幹事, 他(重複を除く)

活動報告および活動計画:CAD委員会 3/4

◆ 2012年度活動計画

- ・第4回CADコンテストの開催
日程:2012年8月3日(金),4日(土)
場所:札幌厚生病院(札幌市) ※第31回大会々場
課題:3次元腹部CT像からの肝血管腫の抽出
- ・CAD勉強会の開催(計3回予定)
第12回 2012年5月19日(土)@名大(話題:準備状況の報告)
第13回 2012年10月頃を予定
第14回 2013年3月頃を予定
- ・画像データベースの拡充と販売
腹部CT像を中心にしたデータベースの拡充
- ・他の学会・研究会との共同企画

活動報告および活動計画:CAD委員会 4/4

画像データベースの整備状況

[既発行分]

1. マンモグラフィデータベース(40画像) 20,000円(解説書とスケッチ付)
2. 胃X線二重造影データベース(76画像) 20,000円(解説書とスケッチ付)
3. 間接撮影胸部X線データベース(50画像) 10,000円(解説書とスケッチ付)
4. 胸部CT像データベース(82画像) 20,000円(説明書付)
5. 腹部CT像データベース Vol.1, Vol.2(60画像) 30,000円(説明書付)
 - ・15症例×4時相, contest2002, 2003の使用データ群も含む
 - ・コンテスト参加者 5,000円

[本年度予定分]

6. 腹部CT像データベース Vol.3(40画像) 30,000円(説明書付)
 - ・20症例×2時相(単純, 門脈), 肝転移診断用に撮影されたデータ群
 - ・DVDディスク3枚組, 名大の肝臓領域手塗りデータも付属(参考情報)
 - ・コンテスト参加者 5,000円, 購入予約申込者 15,000円(本大会でも受付)

※同Vol.4~Vol.7も本年度中に順次リリース予定

活動計画:事業関係 1/3

医用画像工学ハンドブックの改訂(最終報告)

発刊:2012年9月1日

発行:日本医用画像工学会

冊子形態:B5版 900頁 15000円(会員価格12000円)

特徴:二部構成 ①イメージング編、②CAD編

発刊までの予定: 8/5に印刷原稿(本体部)完成、

8/6—索引作成作業開始、ダブルチェック

8/20 最終稿印刷所引き渡し、9/1完成、順次送付

編集委員会 委員長:尾川、副委員長:工藤、清水、

委員:湯浅、佐藤、増谷、森、本谷

執筆者 50名弱

活動計画:事業関係 2/3

研究会の設置 1/2

医用画像工学に関連する学術や医療機器産業の発展、開発技術の迅速な臨床利用などに資する研究会を設置できるものとする。

○設置の条件

異なる機関に所属する正会員5名以上をもって構成する。

○設置の公募

原則、毎年4月1日から6月30日とする。(学会ホームページや学会誌にて公募)

緊急を要する案件等は、適宜、受け付ける。

○設置期間

研究会の設置期間は原則3年を限度とする。(総会の翌日から翌年の総会までを1年)

○予算

学会から年間で原則10万円を支給する。提案に際しては、申請書を提出する。

○審査

常任幹事会で審査し、決定する。

○成果の報告

本学会大会における発表、本学会誌への論文投稿や技術報告などを義務とする。

研究会の設置 2/2

医療ITイノベーション推進研究会

設置期間:平成23年度～平成24年度(2年間)

(平成23年総会の翌日～平成25年総会の開催日)

研究会会長:

森山紀之(国立がんセンターがん予防・健診センター)

実施内容:

医療 IT分野での革新を図るため、以下の検討を行う。

- 1) 医療ITのあるべき姿・臨床応用のスコープの明確化
- 2) 技術・社会イノベーションへ結び付ける方策
- 3) 国が取り組むべき施策や大型プロジェクトの提案

活動計画:事業関係 3/3

教育委員会

医用画像工学に関する体系的な教育の機会を学会員に提供するイベントを企画・実施する。

- ◆ 2011年はチュートリアルをJAMIT年次大会中に実施し、講演をDVD化して学会から販売した。
- ◆ 2012年はチュートリアルをJAMIT年次大会前日に実施し、講演をDVD化して学会から販売する予定。
- ◆ 2013年以降の開催形態や参加費について、今後検討を行う。

常任幹事会担当:縄野 繁(国際医療福祉大学三田病院)

委員会組織

委員長:佐藤(阪大)、副委員長:木村(放医研)、清水(農工大)

委員:木戸(山口大)、北村(島津)、中口(千葉大)、湯浅(山形大)

日本医用画像工学会2011年度収支計算書(案) 収入の部

2011/4-2012/3

(単位:円)

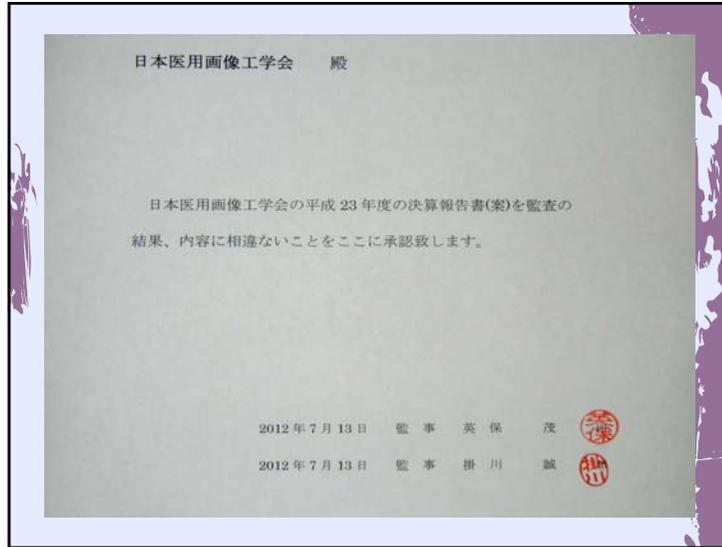
科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 正会員費	3,360,000	2,638,000	△ 722,000	@1,000x22 入会金 @8,000x327 年間費
2. 学生会員費	300,000	300,000	0	@3,000x100
3. 賛助会員費	1,680,000	1,680,000	0	@80,000x21口
4. 図書会員費	234,000	212,000	△ 22,000	@13,000x12 大会CDあり @8,000x7 大会CDなし
5. 会誌広告料	70,000	0	△ 70,000	
6. 会誌別刷代	1,200,000	1,856,727	656,727	
7. 大会事業収入	4,738,500	4,588,622	△ 149,878	
8. CAD DB	200,000	0	△ 200,000	
9. ハンドブック販売収入	3,300,000	0	△ 3,300,000	
10. 教育事業収入		180,000	180,000	
11. 雑収入	100,000	107,133	7,133	
当期収入合計 (A)	15,182,500	11,562,482	△ 3,620,018	
前年度繰越金	2,721,805	2,721,805		
収入合計 (B)	17,904,305	14,284,287		

日本医用画像工学会2011年度収支計算書(案) 支出の部

2011/4-2012/3

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 会誌発行費 5回 29巻3,4,5号,30巻1,2号	4,500,000	4,152,316	△ 347,684	ニューズレター含む
2. 大会事業費 1回	4,738,500	4,296,570	△ 441,930	
3. 表彰費	100,000	138,740	38,740	
委員会費				
4. CAD委員会関連費	100,000	0	△ 100,000	
事業補助金	400,000		△ 222,012	
5. JAMIT FRONIER大会補助費		77,988		
6. 医療ITイノベーション推進研究事業費		100,000		
事業費				
7. ハンドブック製作費	3,300,000	543,585		
8. 教育事業費		394,410		
幹事会・常任幹事会・事務費				
9. 会議費	150,000	89,080	△ 60,920	
10. 旅費交通費	700,000	623,105	△ 76,895	
11. 広報関係費	800,000	978,170	178,170	
12. 事務局費	960,000	756,210	△ 203,790	
13. 備品・消耗品	50,000	0	△ 50,000	
14. 印刷費	100,000	39,480	△ 60,520	
15. 通信費	100,000	60,605	△ 39,395	
16. 雑費	100,000	1,680	△ 98,320	
17. 予備費	1,805,805			
当期支出合計 (C)	17,904,305	12,251,939		
当期収支差額 (A-C)	△ 2,721,805	△ 689,457		
次期繰越収支差額 (B-C)	0	2,032,348		
支出合計	17,904,305	14,284,287		



日本医用画像工学会2012年度 予算(案) 収入の部

2012/4-2013/3

I. 収入の部 単位 円
(単位:円)

科目	12予算額	11予算額	備考
1. 正会員費	2,638,000	3,360,000	@1000x20 入会金 @8000x320 年間費
2. 学生会員費	300,000	300,000	@3000x100
3. 賛助会員費	1,680,000	1,680,000	@80,000x 21口
4. 図書会員費	300,000	234,000	@13000x12 大会CDあり @8000x7 大会CDなし
5. 会誌広告料	0	70,000	
6. 会誌別刷代	1,500,000	1,200,000	
7. 大会事業収入	3,000,000	4,738,500	
8. 教育事業収入	400,000	200,000	教育事業を強化
9. ハンドブック販売収入	2,600,000	3,300,000	ハンドブック発売
10. 雑収入	100,000	100,000	
11. 雑益	100,458	0	
当期収入合計 (A)	12,618,458	15,182,500	
前年度繰越金	7,222,798	2,721,805	定期預金分を追加しました
収入合計 (B)	19,841,256	17,904,305	

日本医用画像工学会2012年度 予算(案) 支出の部

II. 支出の部 (単位:円)

2012/4-2013/3

科目	12予算額	11予算額	備考
1. 会誌発行費 5回 30巻3,4,5号,31巻1,2号	4,300,000	4,500,000	ニュースレター含む
2. 大会事業費 1回	3,000,000	4,738,500	大会事業収入支出は同じ
3. 表彰費	130,000	100,000	
委員会費			
4. CAD委員会関連費	100,000	100,000	
事業補助金		400,000	
5. JAMIT FRONIER大会補助費	100,000		
6. 医療ITイノベーション推進研究事業費	100,000		
事業費			
7. ハンドブック製作費	2,000,000	3,300,000	
8. 教育事業費	400,000	0	
幹事会・常任幹事会・事務費			
9. 会議費	100,000	150,000	
10. 旅費交通費	700,000	700,000	
11. 広報関係費	800,000	800,000	
12. 事務局費	960,000	960,000	
13. 備品・消耗品	30,000	50,000	
14. 印刷費	50,000	100,000	
15. 通信費	80,000	100,000	
16. 雑費	100,000	100,000	
当期支出合計 (C)	12,950,000	16,098,500	
当期収支差額 (A-C)	△ 331,542	△ 916,000	
次期繰越収支差額 (B-C)	6,891,256	1,805,805	
支出合計	19,841,256	17,904,305	

2012年度 役員人事関係一覧 1/3

(2012年8月4日)

■ 退任

会長 : 赤塚 孝雄(山形大学)

会長顧問 : 小畑 秀文(国立高等専門学校機構)

常任幹事 : 縄野 繁(国際医療福祉大学) ⇒ 会長へ

幹事 : 木村 文子(埼玉医科大学)

淺 小太郎(奈良先端科学技術大学)

石垣 武男(名古屋大学) ⇒ 監事へ

監事 : 英保 茂(京都情報大学院大学)

■ 新任

会長 : 縄野 繁(国際医療福祉大学) 常任幹事より

幹事 : 平野 靖(山口大学) 公募選出

監事 : 石垣 武男(名古屋大学) 幹事より

2012年度 役員人事関係一覧 2/3 (2012年8月4日)

■ 任期満了後の再任

副会長：
 長谷川 純一(中京大学) 森山 紀之(国立がんセンターがん予防・検診C)

常任幹事：
 尾川 浩一(法政大学) 本間 一弘(産業技術総合研究所)
 羽石 秀昭(千葉大学) 細羽 実(京都医療科学大学)
 片山 昭宏(キャンノン) 東木 裕介(東芝メディカルシステムズ)

幹事：
 佐藤 嘉伸(大阪大学) 福田 国彦(東京慈恵会医科大学)
 清水 昭伸(東京農工大学) 吉村 仁(コニカミノルタエムジー)
 森 雅樹(札幌厚生病院) 山本 裕(横河医療ソリューションズ)
 湯浅 哲也(山形大学) 勝俣 健一郎(国際医療福祉大学)
 杉本 直三(京都大学) 原 武史(岐阜大学)
 北坂 孝幸(愛知工業大学) 山谷 泰賀(放射線医学総合研究所)

2012年度 役員人事関係一覧 3/3 (2012年8月4日)

■ 第32回JAMIT大会(2013年)
 大会長:本間 一弘(産業技術総合研究所)

■ JAMIT Frontier 2013
 世話人:羽石 秀昭(千葉大学)

新会長候補者選について (報告)

■ 赤塚現会長の辞任表明に伴い、新会長候補者の選出を行った。

■ 今回は以下を考慮、常任幹事会内互選で候補者を選任した。
 - 大会までの期間が短かく、公開自他薦の時間が無い事。
 - 学会経営の改善が急務であり、内情を熟知する者。

■ 互選の結果、前記の候補者を選出した。

JAMIT規約変更について

■ 役員任期

- 趣旨
役員スムーズな交代、刷新の恒常化を図る。
- 内容
役員任期総年数の明確化

■ 会費徴収

- 趣旨
会費前納、早期督促による着実な徴収
- 内容
各年度4月前に当年度会費を徴収する。
(会費納付年度と会員特典付与年度の一致)

2012年度は、今年度と来年度の2年分の支払いが生じる。

役員選任規定

第1条(目的)
本規定は本会の定款第7条に基づき、次に列挙する職名の役員選任に関する事項を定める。
会長 1名 副会長 若干名
常任幹事 10名以内 幹事 若干名 監事 2名

第2条(資格)
(1) 役員を選任権は、本会員の正会員のみが有する。
(2) 役員への被選挙権は、本会の正会員のみが有する。
(3) 第2条前各条項の正会員には**当年度**の会費未納会員は該当しない。

第3条(任期)
役員は任期は1期2年、**選任された日から翌々年の総会までとする。**
各役員職における再任は1回、最長2期とする。
特定業務の遂行上、常任幹事の任期継続が必要と認めた場合は、総会の承認を得て延長することができる。

第4条(選任)
会長および常任幹事、幹事の選任は公募を通して自薦乃至他薦により候補を決定する。
幹事会は総会に新会長候補を提案し、出席者(委任状提出者を含む)の過半数の同意を得て、新会長を選任する。
(3) 新会長は総会に幹事会の同意を得た他の役員候補者を提案し、出席者(委任状提出者を含む)の過半数の同意を得て他の役員を選出する。
(4) 役員改選を行う年の総会開催日の1ヶ月前までに、その時の会長、副会長を含む常任幹事会は第1条に述べる全ての次期役員候補案を作成する。
(5) 常任幹事会は幹事会に次期の役員候補案を提案し、出席者(委任状提出者を含む)の過半数の同意を得て、次期の役員候補者を決定する。

以後省略

会費、会員管理に関する規程

第1条 会費
1. 年度(1年間)は、4月1日より翌年3月31日とし、**会費は前納とする。**
2. 本学会の年会費は以下のとおりとする。
正会員 8,000円
学生会員 3,000円
賛助会員 1口 80,000円 (1口以上)
図書会員 A会員 :20,000円(オンデマンドプリント冊子 + 大会抄録CD-R)
B会員 :10,000円(CD-R + 大会抄録CD-R)
賛助会員1口には正会員1名分(記名式)の年会費を含むものとする。

第2条 入会金
1. 正会員の入会金は、1,000円とする。
2. 学生会員、賛助会員および図書会員については入会金を免除する。

第3条 常任幹事会は幹事会に名誉会員候補案を提案し、出席者(委任状提出者を含む)の過半数の同意を得て決定する。名誉会員は年会費を免除する。

第4条 年会費の未入金
1. 3月31日現在で1年間(当年度)の未入金がある場合は翌4月1日以降に発行する**会誌および電子メールによる各種案内は送付せず、また会員パスワードを停止する。**
2. 未入金および新年度分の会費が入金が確認された時点で**電子メールによる各種案内を再開し、また会員パスワードを再開する。**

第5条 年会費の滞納(1年以上の滞納)
6月30日現在で前年度の年会費が滞納されている場合は、**翌9月1日**をもって自動的に退会とする。一度退会とされた場合は、再入会に際して入会金および滞納された年会費の支払いを要する。

以後省略

2011年度 MIT誌「論文賞」受賞者

論文名: T_2 緩和時間の角度依存性を用いた
コラーゲン線維のMRイメージング

Vol. 29 No. 5

井村 誠孝¹, 徳井 隆博¹, 大口 諒², 田畑 慶人³, 石垣 陸太³,
黒田 嘉宏¹, 藤原 一央⁴, 大城 理¹

1) 大阪大学大学院基礎工学研究科 2) 登美ヶ丘画像診断クリニック
3) 京都医療科学大学 4) メディカルチャート

第30回大会「大会奨励賞」受賞者

演題番号/発表者/所属/タイトル
OP3-9 井村 誠孝 大阪大学大学院 T2緩和時間の角度依存性を用いたコラーゲン線維のMRイメージング
OP5-11 中尾 俊哉 徳島大学 4次元胸部CT画像を用いた呼吸筋の解析
OP6-6 渡部 博之 千葉大学大学院 CT画像を用いた胃がん浸潤診断支援
OP6-8 藤岡 毅 岐阜大学大学院 歯科パノラマ線写真における動脈硬化のスクリーニングのための顎関節石灰化の自動検出法の開発
OP7-1 徳野 高道 名古屋工業大学 Li/Li+濃縮小化に基づくモデルからの造影に頼らない非剛体レジストレーション
OP7-2 大西 隆 千葉大学大学院 2D/3Dレジストレーションにおける自由運動速度にロバストな初期点設定法の検討
OP7-3 山岡 尚登 名古屋工業大学 点群統計モデルによる複数動脈造影レジストレーション
OP8-6 山崎 隆治 大阪大学 2D/3D画像位置合わせによる骨接人工関節の設置評価法
OP8-9 村井 希希 千葉大学大学院 血管の明瞭化のためのLED光源設計
OP10-4 高橋 和晃 筑波大学大学院 ブロック反復画像再構成における線形パラメータを用いないリミットサイクル回遊法 —リストモード再構成への拡張—
OP11-1 王 朕 筑波大学大学院 一般軌道に適用可能なCT画像再構成法: Fan-beam filtered backprojection method using a plus-minus sign weighting function for general closed and open source trajectories

次回の大会のお知らせ

第32回日本医用画像工学会大会 (JAMIT2013)

大会長: 本間 一弘(産業技術総合研究所)

(予定)

会期: 2013年(平成25年)8月2日(金)・3日(土)
CADコンテスト/チュートリアル講演会: 8月1日(木)

会場: 日本科学未来館/産業技術総合研究所臨海副都心センター
(東京都江東区青海)